

## 新

年あけましておめでとうございます。皆様には希望に満ちた健康やかな新春をお迎えになったこととお慶び申し上げます。

昨年の11月には町長選挙が執り行われ、3期目の町長に就任させていただきました。「このまちに住んで良かった」と誰もが実感し、「共に幸せを感じるまち」の実現に向け、強い使命感のもと全力で取り組んでまいり所存です。新たな年を迎え、改めて責任の重さを痛感し決意を新たにしているところでございます。

昨年を振り返りますとアベノミクスで上向きかけた経済が4月に消費税率が3%引き上げられたことを受け、腰折れ状態となつてしまいました。これを受け安倍総理も、今年10月の消費税増税を1年半延期されました。これは是非を問うべく、年末に衆議院議員総選挙も実施されました。結果、自民・公明の連立政権が信任され安倍内閣が続投することとなりました。

一方、地球環境の変化、温暖化、それに伴う気候変動の影響もあって各地で酷暑や集中豪雨、火山爆発などによる災害が発生し、甚大な被害が起こっています。また東日本大震災や福島第一原子力発電所の事故による影響もまだ収束には向かっていません。これから廃炉に向け何十年という長い年月を経ねばなりません。いずれにしても起

こつた現実には厳しい試練と受け止め冷静に対処していかねばなりません。

このような状況下、本町におきましては限られた財源の中で、町行政を取り巻く環境は厳しいものがありますが、急進する少子化、本格的な長寿社会への対応、教育の充実と防災体制の強化をはじめ、住民の安心・安全な暮らしの確保、健康づくりと福祉の充実など、多様な住民要望と時代の要請に的確に応えていかねばなりません。

新清掃工場の整備につきましては御所市、五條市、田原本町の3市町での建設が御所市栗阪地区で始まります。平成28年度の完成、平成29年からの操業予定です。本町の玄関口であり、駅前交番のできる、近鉄田原本駅前は見直しをおこなった田原本インター周辺の企業誘致、それに伴うインフラ整備を進めてまいります。国史跡である唐古・鍵史跡公園の整備につきましては順調に工事も進み平成29年度の完成を目指しています。同時開業すべく隣接地に交流促進施設（道の駅）の工事も進めてまいります。これら以外にも、来年度から地籍調査を行い農地の大規模化に取り組んだ農業基盤の整備、中学校給食の実施を含めた教育の充実、田んぼダムを活用した地域防災体制の強化、など「田原本

町第三次総合計画」の具体的な施策を積極的に進めてまいりたいと考えています。

今後、地方分権の推進、少子化、高齢化、住民意識・生活様式の多様な変化など、取り巻く環境が大きく変化する中、時代の要請に応じた行政活動を行うためには、行政の在り方・役割分担を考へ、自立した財政基盤の確立を図るとともに、簡素で効率的、持続可能な行政運営に取り組む必要があります。同時に地域の様々な課題を自主的・主体的に解決し、魅力ある「まちづくり」に向け職員共々、公正・公平な町政運営に取り組んでまいります。

町民皆様には、更なるご理解ご協力を賜りますようお願いするとともに、本年が皆様にとりましてご健康で幸多い年であることを祈念申し上げます。年頭並びに就任の挨拶といたします。

**時代の要請に応じた行政活動を行うために、自立した財政基盤の確立を図るとともに、簡素で効率的、持続可能な行政運営を**

田原本町長 **寺田 典弘**



# 新年のごあいさつ

あ

けましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、穏やかな新春を迎えられましたことと心からお慶び申し上げます。また、日頃から町政、議会運営につきまして格別なご理解とご協力を賜り、心からお礼を申し上げます。

さて昨年を振り返りますと、我が国の社会経済状況は、アベノミクス効果により景気が回復傾向にあると言われていますが、消費者の実感はずいぶん遅く、4月に17年ぶりの消費増税があった影響による買い控えもあり、消費の落ち込みが見られました。このような景気の動向を踏まえて、今年の10月に予定されていた消費税率の再引き上げが1年半先送りされ、今年の経済情勢も依然として先が見えにくい状況であります。また自然災害が日本各地で発生し、戦後最悪の火山災害となった御嶽山の噴火、長野県北部の地震、台風また局地的な豪雨による洪水、土砂災害等による甚大な被害があり、被災された皆様には心からお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興を祈念申し上げます。

このような社会情勢でありましたが本町では子育て支援、保育サービス充実のため、昨年4月に宮古保育園の増築工事が完了し、定員を50名増として待機児童がなくなるよう受け入れの拡大を図る整備が行われました。また

歴史的な文化遺産である国史跡の唐古・鍵遺跡の公園整備工事が昨年9月より本格的に着工され、平成29年度末に完成する予定で、遺跡の情報を町内外に発信し保存と活用等を図られることが期待され、近接において交流促進施設（道の駅）の建設準備も進められているところであります。

町政におきましては、昨年11月に任期満了による町長選挙が行われ、寺田典弘町長が当選され、寺田町政の3期目がスタートいたしました。また私ごとでもありますが、10月臨時会におきまして、議長に推挙いただき、その職責の深重さを感じ全力で取り組んでまいっている所存であります。町政の重要課題である新ごみ処理施設建設につきましては、本町、御所市、五條市の二市一町の広域での一部事務組合で準備が進められています。建設工事は御所市内で昨年10月から着工され平成28年度末の完成予定であり、ごみ中継施設建設につきましても、昨年9月から矢部地内で着工され、今年の8月末に完成予定であります。なお、現在の清掃工場につきましては、地元住民の皆様にご理解とご協力を賜り、長期にわたり稼働させていただいておりますこと、厚くお礼申し上げます。

本町では、田原本町南地区の再開発、中学校給食、医療・福祉・介護の社会保障関係費の増加等、多くの課題が山

積しております。これらの事業、諸課題に対しまして二元代表制の一翼を担う議会といたしましては、私も含めまして議員自らが資質の向上を図り、議員としての役割を再認識し積極的に検討、提案を行うとともに、「議会たより」での情報発信とも併せまして、町民の皆様に分かりやすい開かれた議会の実現に引き続き努めていく所存であります。今後も全議員が町民の皆様の負託に応えられるよう、町政の監視機能や政策提言機能の充実とともに、英知を結集して、町政発展に精力的に取り組んでまいります。

**今後も全議員が町民の皆様の負託に応えられるよう、英知を結集して、町政発展に精力的に取り組んでまいります**

田原本町議会議員 **辻 一夫**

